



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

歯学部長 宮崎 隆

本学のミッションは社会で貢献できる医療人育成です。医療人のキャリアパスは、学部教育から始まり、卒直後研修、専門制を目指した後期研修、専門診療に従事する傍らの生涯研修へと続きます。医師は資格取得後2年間の卒直後研修、歯科医師は1年の研修が必修化されています。



医師では新しい専門医制が検討されており、当初来年3月の研修修了者から、専攻医の身分で19基本領域のいずれかの専門医を目指して後期研修を受けることになっていました。特に新しい専門領域として総合診療医が設けられたことが大きな改革です。本学においても、昨年度以来、各専門領域のプログラム立案を行い、法人として専攻医の位置づけや処遇について検討してきました。

これまで歯科では、医科の制度改革を後追いで、教育ならびに研修制度を変えてきた歴史があります。そこで医科における最新情報を歯科界に紹介すべく、私が理事長を務めている日本歯学系学会協議会(歯学に関連した76学会の連合体)の総会に合わせて、6月30日に、「医科における専門医制の現状と展望」と題した講演会を本学で開催しました。講師として、独立行政法人 労働者健康安全機構理事長の有賀徹先生(本学名誉教授)にお願いしました。有賀先生は、一般社団法人日本専門医機構の副理事長を(6月末まで)務めていました。半年前に有賀先生に講演を依頼したときは、制度改革が順調に進んでいるように見えたのですが、その後特に総合診療医に関して急に雲行きが怪しくなり、6月に入ってから厚労大臣からも幅広い方々からの要望や意見を真摯に受け止めて取り組むようにとの談話が出されています。

有賀先生は総合診療専門研修担当の副理事長だったので、お立場上このタイミングで講演するのは気が重かったと思いますが、私共歯科関係者に対して、医科における専門医制検討の経緯から、ご専門の救急科専門医の現状、さらにこれからの医療における総合診療医のあり方まで、非常にわかりやすく紹介いただきました。

参加者からの多くの質問にたいしても丁寧にお答えいただき、今後の歯科における専門医制検討の今後の進め方にも大いに参考になりました。本学では超高齢社会に突入した国民の健康に貢献できる歯科医療人育成のために、卒前教育のカリキュラム改革を進めてきました。文科省の助成を受けて、北海道医療大学と岩手医科大学と連携してIT教材の開発や、歯科医師会の協力を得て地域連携医療実習を進めてきました。今後は、開発した教材を卒後研修や生涯研修にも使えるように取組を進めたいと考えています。歯科における総合診療歯科医の位置づけについては色々な意見がありますが、歯科医師の殆どが地域で開業している現状を考えると、今後歯科医師が地域におけるチーム医療の一員として活躍できることが望まれているのは明白です。そのためにも、医科における総合診療医のあり方を見据えて、これまで以上に国民のために貢献できる歯科医師の教育ならびに研修を進めていく必要があります。

また、本学においては来年の4月から従来の助教(員外)制度を助教(医科)、助教(歯科)、および助教(薬科)に名称変更して、後期研修に対応させることも決まっています。歯科病院の各診療科においても、それぞれの専門学会の認定制度に対応して専門医取得につながるプログラムの整備を進めたいと思います。

病棟実習シミュレーション・学部連携PBLが実施されました

歯学教育学部門 片岡 竜太

昭和大学では「チーム医療ができる医療人の養成」をキーワードとして、4学部連携教育を行っています。医・歯・薬4年生、保健医療3年生約600名を対象とした病棟実習シミュレーション・学部連携PBLを6/10(金)、6/16(木)、6/21(火)に旗の台校舎で実施しました。上條講堂でオリエンテーションを行い、PBLの進め方を確認すると同時にシナリオの患者さんが救急搬送されたビデオを観ました。



学部連携病棟実習に協力していただいたこの入院患者さんの診療録を基に作成した模擬診療録(医科, 歯科), 薬剤管理記録, 看護記録などをシナリオとして, 学生は72グループに分かれてディスカッションを行いました。模擬診療録などを読んで患者さんの病態や気持ちを把握した上で, カルテや検査データからキーワードを抽出し, ポストイットを使ってグループでプロブレムマップを作成することによって, 患者や家族の問題の全体像を把握し共有しました。患者や家族が入院前の生活に戻るために, 医療者が解決, 改善すべき問題は何かを討論し, 問題点リストの優先順位をグループで検討しました。この過程で「あやふやなこと」「わからないこと」を学習項目として, 自己学習を行い, お互い他のグループメンバーに説明をし, グループとしての理解を深めました。問題点リストの優先順位に従って, 各問題点に対してグループとして考えた治療・ケアプランを立案しました。主要なプロセスをファシリテーター(指導医)にチェックしてもらいながら進め, 最終日に模擬患者さんに対して治療ケアプランを説明する会を4グループが合同で行いました。ペーパーペーシェントはこのPBLで卒業です。来年は医科病院の病棟で実際の入院患者を対象に実習(1週間)をおこないます。昭和大学ならではのチーム医療教育を受けた学生達が, 医療現場で活躍することを期待します。

日本歯科医学教育会で昭和大学が存在感を示しました

高齢者歯科学講座 佐藤 裕二

6月30日から7月2日にわたり, 大阪大学吹田キャンパスで第35回日本歯科医学教育学会学術大会が開催されました。本学から常任理事2名, 理事2名と監事を出しており, 口演発表2題, ポスター発表8題でした。「文部科学省 大学間連携共同教育推進事業:IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」の交付を受けて実施した演題で, 片岡竜太先生が「教育システム開発賞を受賞されました。また, 3大学(北海道医療大学, 岩手医科大学, 昭和大学)の学生間交流に関しては, 学生たちが発表しました(優秀賞を受賞しました!)



教育における昭和大学の存在感をアピールできた学会でした。

1日の夜には, 宮崎学部長を交えて, 3大学交流の懇親会を行い, 受賞を祝うと共に, 学生を含めた発表者の慰労を行い, さらなる邁進を誓い合いました。

昭和大学学士会例会(歯学部主催)が開催されました

学士会運営委員 高見 正道

今回で330回目となる昭和大学学士会例会(歯学部主催)が6月25日, 昭和大学歯科病院第2臨床講堂にて開催されました。一般講演全16演題のうち9演題は, 本学会での発表が学位申請要件の1つとなる大学院生によるものであり, フロアからの難しい質問に対して, 大学院生が物怖じすることなく的確に回答する様子が非常にたのしく, 印象的でした。研究紹介講演では, 平成27年度上條奨学賞(研究業績)を受賞した中村史朗講師(口腔生理学)が, ご自身の業績として顎運動制御に関与する中枢神経機構の解明について講演されました。また, 午後からの特別講演では, 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学の森下竜一教授が, 「アカデミア創薬による未来医療」と題



して, わが国の医薬品や近年注目されている機能性表示食品の開発と認可までのプロセスと課題について, 行政と産業そしてアカデミア(大学・学会等)の立場から, わかりやすく解説してくださいました。終始, 活発な討論がおこなわれたため, 時間を30分近くオーバーして閉会となりました。今回の準備・運営は, 口腔生理学講座, 口腔リハビリテーション医学部門, 地域連携歯科学部門が担当してくださいました。学会の準備等, ありがとうございます。

D1歯学入門について

富士吉田教育部 前田 昌子

「歯学入門」は1年生唯一の専門科目で昨年度より通年に変更しました。9月に行われる初年次体験実習(歯科診療所見学実習)を挟み, 今年度は前期10回, 後期11回で行われています。講義は①歯学の基礎を学ぶ ②信頼できる情報の入手, 活用を学ぶ ③歯科診療所見学実習の準備, 反省 ④歯磨き, 食事介助等の実習で構成されています。

「歯学の基礎を学ぶ」では指定された8個の課題の提出と1回の発表をします。課題を通して六年間でどんな勉強をするのかを知り, 「信頼できる情報の入手, 活用」も学んでいきます。

こちらは図書館司書の方たちと連携し, 専用のテキストを用いて参考文献の書き方等も学習します。発表は調べた内容を3分にまとめ100人の前で話します。

初めての発表に緊張がこちらにまで伝わってきます。後期には歯科診療所見学実習でお世話になった先生に来ていただき、受け入れ側の視点からお話をさせていただきます。本授業の大きな特徴としてはポートフォリオサイトを通じ、富士吉田の学生が提出した課題を旗の台の教員と図書館司書が連携して指導しています。専門の先生方から返信があることもあり、学生から高い評価を得ています。ご協力いただいている先生方にもこの場を借りて感謝いたします。



富士吉田校舎オープンキャンパスが実施されました

入学支援課 水庭 隆史

平成28年6月5日(日)富士吉田キャンパスにおいて受験者を対象とした富士吉田キャンパスオープンキャンパスを開催しました。4学部併せて178組376名の参加者が来場し、その内歯学部志望の参加者は17組36名でした。当日のプログラムでは、全体説明会で、小出学長からの挨拶があり、富士吉田教育部田中教授と学生による富士吉田校舎での生活等についての講演がなされ、教職員・学生との個別面談や食堂での昼食体験、馬場・植物園などの施設見学ツアーが実施されました。また、1年次に実際に過ごす寮の見学も行われ、多くの方が熱心に見学していました。参加者からは“受験勉強のモチベーションが上がりました。”、“雰囲気がとても良くて、入学したら楽しそうだなと思いました。”との声が寄せられ、大変好評のうちに終了しました。今年度より、寮祭との同時開催ではなくなりましたが、富士吉田キャンパス



の1年生たちによる参加者を歓迎する模擬店も出店され、楽しい雰囲気が流れるにぎやかなオープンキャンパスとなりました。引き続き、8月27日(土)に富士吉田キャンパスオープンキャンパスを開催します。

第21回夏季スポーツ壮行会が開催されました

歯学部学生部長 上條 竜太郎

第21回夏季スポーツ大会壮行会が7月8日に開催されました。

午後5時から昭和大学病院入院棟地下1階臨床講堂で、堀川浩之教授(富士吉田教育部)に「コンディショニング」について、大林真幸講師(薬学部臨床薬理学講座薬物治療学部門)に「アスリートにおける安全な薬の使い方」についてご講演いただきました。

引き続き午後6時から50年記念館で、壮行会が開催されました。小出学長が告辞を述べ、挨拶は4学部を代表して久光医学部長、與儀父兄会長がそれぞれ行いました。医学部同窓会学内支部長である末木教授(皮膚科学)から、体連5クラブ、文連1クラブに部活動奨励助成金が授与されました。アイスホッケー部伊東恵吾君(D4)の選手宣誓に続いて、グリークラブによる校歌斉唱をもって終了致しました。

懇親会ではまず、応援指導部による迫力あるエールが会場内に響き渡り、宮崎学生部長の乾杯により会が始まりました。大会での健闘を誓う各クラブの学生の活気で会場内が満ちあふれる中、午後7時に閉会となりました。



認定医の取得

広報委員長 中村 雅典

老年歯科医学会認定医

横山 薫 (口腔リハビリテーション科)

野末 真司 (口腔リハビリテーション科)

上澤 裕子 (高齢者歯科)

行事予定

広報委員長 中村 雅典

日時	行事
8月5-6日	第20回歯学教育者のためのワークショップ(アドバンスコース)
8月7-9日	第20回歯学教育者のためのワークショップ(ビギナーコース)
8月13日	歯学部オープンキャンパス
8月20日	大学院歯学研究科秋季入試

マレーシア医療巡回に参加しました

大学院2年 松井 庄平(地域連携)

6月26日～7月4日までの9日間、一般財団法人海外法人医療基金(JOMF)の事業の一つである、海外専門科目医療相談および医療巡回事業の医療チームの一員として、マレーシア(ペナン、マラッカ、クアラ Lumpur)医療巡回に参加いたしました。

JOMFは外務、厚生、労働3省共管の下、海外在留邦人および海外渡航者の福祉の増進、健康の維持を目的として、1984年に財団法人として設立された基金です。今回の医療チームの構成は医師1名(小児科)、歯科医師3名、歯科衛生士1名、基金の統括の方1名の計6名でした。

現地での活動内容は大きく分けて3つ、現地日本人学校での歯みがき授業、歯科健診、歯科相談です。

歯みがき授業では、小学1～4年の各クラスで45分の授業を行いました。また歯科相談では様々な相談があり、地域医療施設と連携し包括的な医療をスムーズに提供することの重要性について再確認いたしました。その他、ペナンでは日本総領事との会食や、KLでは日本大使館公使表敬訪問、JETROやJICAの方々との懇親会といった大変貴重な経験もさせて頂きました。

今回の事業ではチーム全体で約680名の健診、相談を行いました。このような学びの多い医療巡回に参加することができ、関係各位の方々に深く感謝しております。



平成28年度秋季・平成29年度春季 大学院募集要項について

大学院運営委員長 山本 松男

7月6日(水)17時半から、歯科病院において大学院説明会が開催されました。研修医12名、6年生11名、5年生12名、他大学研修医2名の合計37名と、昨年よりも参加人数が10名以上の増となりました。19の講座・部門からおいでいただいた先生方の説明に、熱心に耳を傾けていました。6年生に対しては、7月14日(木)の総括講義終了後にも大学院入試概要と専攻科目ごとに取得できる専門医資格など大学院に関連する事項の説明を行いました。今後の説明会および大学院入試の日程は、下表の通りです。詳細は <http://www.showa-u.ac.jp/grad/dent/> をご参照ください。大学院での大きなステップアップを期待しております。

大学院入試日程(歯科学研究科)

入試日程	秋季	春季 I	春季 II
願書受付	7月19日(火) ～8月10日(水)	10月24日(月) ～11月18日(金)	1月10日(火) ～2月1日(水)
試験	8月20日(土)	12月3日(土)	2月18日(土)
合格発表	9月14日(水) 17:00	12月21日(水) 17:00	3月15日(水) 17:00
入学辞退	9月26日(月) 17:00迄	3月31日(金) 17:00迄	3月31日(金) 17:00迄

大学院歯科学研究科説明会日程・スケジュール

日程	対象者	場所	スケジュール 【各回共通】
① 9月7日(水) 17:30～	春季入学希望者・臨床研修医・学生	歯科病院 6階 第一臨床講堂	1) 大学院歯学研究科概要・入試要項について(大学院運営委員長) 2) 専攻科目・研究内容紹介(1講座につき発表3分、準備1分)
② 11月9日(水) 17:30～	春季入学希望者・臨床研修医・学生		

受賞

広報委員長 中村 雅典

第35回日本歯科医学教育学会 学生セッションポスター発表優秀賞

「ITを用いた準備教育を踏まえた昭和大学における多職種連携高齢者臨床実習とSkype学生討論の経験」

谷口咲香, 林千陽, Han James Hyunwo (歯学部6年)

第125回日本補綴歯科学会
学術大会

ポスター賞(デンツプライ賞)
「MPCポリマーを用いたデンチャープラーク付着抑制の臨床評価」
池谷賢二
(歯科補綴学講座)



優秀課題口演賞

「iPS細胞を用いた5-HT2A遺伝子型をもつ睡眠時ブラキシズムモデルの確立」
帆足有理恵
(歯科補綴学講座)



編集後記 小児成育歯科学講座 新田 雅一

お忙しい中、寄稿頂いた皆様には感謝いたします。7月に入り、全国的に猛暑ですが、スタミナの付くものを食べて夏バテにならないようお気を付けください。